

# 「安全衛生管理活動等にかかる調査」のとりまとめ結果

愛知労働局 労働基準部 安全課

愛知労働局では、第11次労働災害防止推進計画において、死亡災害の大幅減少等を目標に、リスクアセスメントの実施を中心とする労働災害防止活動を進めており、「職場の潜在的な危険性又は有害性を特定し、危険性又は有害性ごとのリスクを見積り、リスク低減のための優先度の設定・リスク低減措置内容の検討、リスクの低減措置の実施」という一連の手法であるリスクアセスメント等の導入、安全衛生活動の活性化、安全衛生水準の向上等を県内各事業場においてお願いしております。

そこで、当局では、職場でのリスクアセスメント、労働安全衛生マネジメントシステムの導入・実施状況、導入への障害等について、県内の概ね労働者50名以上を使用する製造業、建設業、運送業等の約3500事業場に、本年8月～9月に通信調査を実施しました。

なお、同様の調査は、平成17年度より、労働者100名以上の製造業を中心に実施していましたが、平成20年度、調査内容を整理し、かつ労働者50名程度以上の製造業と、中規模以上の建設業・運送業の実態についても調査対象として拡大しております。

## 1 調査対象について

調査は、愛知労働局より、調査票を各事業場に送付し、FAX等で回答をいただく形式で行いました。送付数及び回答状況は、次表のとおりです。

また、調査結果は、それぞれ、製造業はA-1、建設業は、A-2、運送業はA-3に取りまとめました。

業種	送付数	回答	回答率
製造業	2,575	1,722	66.9%
建設業	447	331	74.0%
運送業	485	273	56.3%

事業場規模を、製造業は100名未満、100-499名、500名以上の3区分し、運送業については100名未満、100-299名、300名以上の3区分としました。

## 2 基本方針を作成し、事業場のトップが表明することが重要！

労働安全衛生に係る基本方針を作成し、それを事業場のトップが表明している事業場の割合は、製造業85.9%、建設業93.4%、運送業83.2%となっている。(調査項目1)

また、基本方針を作成し、トップが表明している場合と、していない場合の千人率(過去1年間で労働者1000人当たりの労働災害件数)を比べると、明らかに、している場合の方が、千人率が低く、災害が少ないことが分かります。

過去の業種別でみた場合の調査結果にも、この傾向(トップの決意表明がある場合は、千人率が低い)が、表れています。

なお、建設業においては、他の業種に比較し昨年は死亡災害の大幅な上昇等があり、安全対策への取り組み喚起を図ったことにより回答率が大きく向上し、トップの率先垂範による取り組みなどの成果が見られたものの景気後退に伴う労働者数の大幅な減少等による母数人数が小さくなった影響により千人率の上昇が見られます。

## 3 その基本方針の周知方法を尋ねたところ、

労働安全衛生の基本方針は、労働者に浸透しなければ、意味がないものですが、作成された基本方針の労働者への周知方法を尋ねたところ、製造業、建設業、運送業とも、「文書を掲示して周知している」が、最も多く、それに加え、文書配布や定期的口頭指示等、複数の手法が取られていましたが、少数ではありますが、「基本方針を周知していない」という回答もありました。（調査項目2）

## 4 リスクアセスメントの認知・活動等状況について

当局が導入を推進している「リスクアセスメント」について、その認知等状況を調査したところ、「リスクアセスメント」を「知らない・分からない」が、製造業 4.7%、建設業 2.1%、運送業 4.4%となっており、建設業では、殆どの事業場で言葉の意味は理解されていました。（調査項目3）

また、「リスクアセスメントを実施している」と回答された事業場は、

製造業 61.4%、建設業 76.4%、運送業 57.1%

となっており、半数以上の事業場で、リスクアセスメントが実施されていますが、その実施内容等を聞いたところ、リスクアセスメント指針（危険性又は有害性等の調査等に関する指針）に沿って実施されているのは、「リスクアセスメントを実施している」事業場の内、

製造業 15.4%、建設業 11.1%、運送業 14.7%

となっています。

特に、残存リスク等（リスクアセスメント活動）の記録の作成の実施率が低く、折角の活動が、次に繋がらない懸念が認められる結果でした。（調査項目4）

また、「リスクアセスメントを知っているが、実施していない」と回答された事業場は、

製造業 30.7%、建設業 19.6%、運送業 34.8%

となっており、それらの事業場が、導入に踏み切れない理由としては、3業種とも、

社内に詳しい人材がない、実施の時間がない、リスクアセスメントの内容がよく分からないと言うものが、上位を占めていました。（調査項目6）

さらに、リスクアセスメントを実施している事業場の内、半数以上、

製造業 60.8%、建設業 64.8%、運送業 53.2%

が、リスクアセスメントの効果を感じており、

製造業 27.4%、建設業 28.1%、運送業 44.9%

の事業場が、事故・災害の件数が減った、回答しています。

また、製造業 76.7%、建設業 66.4%、運送業 66.0%の事業場が、「危険箇所・危険作業が特定できた」と回答しております。

しかしながら、その一方で、安全衛生スタッフが忙しくなった、安全衛生経費・費用が増加した、マニュアル等書類が増えた、との回答も相当数あり、上記の導入の障害となっている内容（実施の時間がない、他の安全管理活動で手一杯等）を裏付ける結果となっています。（調査項目8）

## 5 労働安全衛生マネジメントシステム等を導入・認知等状況について

厚生労働省が導入等を推進している「労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)」について、その認知等状況を調査したところ、「労働安全衛生マネジメントシステム」を「知らない・分からない」との回答が、製造業 28.5%、建設業 28.7%、運送業 42.5%となっており、リスクアセスメントの言葉の理解を比べ

ると、いまだ、十分な理解をされていない状況です。(調査項目 9)

また、労働安全衛生マネジメントシステムを知っていて、導入されていない事業場に、導入に踏み切れない理由について確認したところ、

社内に詳しい人材がない、実施の時間がない、他の安全管理活動で手一杯と言うものが、上位を占めており、リスクアセスメントの導入障害と同様の状況でした。(調査項目 1 2)

# 基本集計 平成21年（全体）「安全衛生管理活動等にかかる調査」のまとめ 別添A

## (全体集計)

全体		千人率	
事業場数	比率	自社	自社+派遣

### 1. 労働安全衛生に係る基本方針を作成し、それを事業場のトップが表明していますか？

(01\_01+01\_02の合計を全体として計上:有効回答数)

01.01	している	2021	86.6%	1.76	1.81
01.02	していない	313	13.4%	4.19	4.36

### 2. 事業場の労働安全衛生に係る基本方針を、現場労働者に周知していますか？（複数回答可） (01\_01を母数に比率算出)

02.01	常時携帯用の冊子等に記載して周知している	250	12.4%
02.02	文書を配布して周知している	867	42.9%
02.03	文書を掲示して周知している	1393	68.9%
02.04	朝礼等の際に定期的に口頭で周知している	1084	53.6%
02.05	その他の方法で周知している（社内LANなど）	601	29.7%
02.06	基本方針の周知はしていない	29	1.4%

### 3. リスクアセスメント（危険性・有害性等の調査及び必要な措置の実施）を知っていますか？ (01\_01+01\_02(全体)を母数に比率算出)

03.01	知らない・分からない	100	4.3%	3.65	3.69
03.02	知っているが、実施していない	693	29.7%	4.16	4.17
03.03	実施している	1471	63.0%	3.37	3.20

### 上記③の場合、リスクアセスメントを実施する体制等はどこまで整備されていますか？（複数回答可） (03\_03を母数に比率算出)

イ	事業場のトップ(総括安全衛生管理者等)がリスクアセスメントの実施を統括管理することを文書等で明示している	637	43.3%
ロ	安全管理者、衛生管理者等をリスクアセスメントの実施を管理する者に選任し、これを実施するために必要な教育を受けさせている	934	63.5%
ハ	(化学物質を使用する事業場の場合)化学物質等の管理を担当する者(化学物質管理者)を指名し、リスクの調査等に関し技術的業務を担当させている	234	15.9%
ニ	安全衛生委員会等の運営規定にリスクアセスメントが調査審議事項として記載されている	388	26.4%
ホ	安全衛生委員会等でリスクアセスメントを調査審議事項としている	708	48.1%
ヘ	安全衛生委員会等の議事録等にリスクアセスメントの結果に対し、調査審議した記録を残している	566	38.5%

### 4. 行っているリスクアセスメントについて（複数回答可） (03\_03を母数に比率算出)

04.01	作業標準・作業手順書等により、危険性又は有害性が特定されている	1004	68.3%
04.02	特定された危険性又は有害性をもとに、リスクの見積り（評価）を行っている	1025	69.7%
04.03	リスクを低減するための優先度の設定及び低減措置を検討している	1017	69.1%
04.04	優先度に対応したリスク低減措置を実施している	916	62.3%
04.05	残存リスク等（リスクアセスメント活動）の記録を作成している	626	42.6%
04.06	今後、残存リスク等に対し低減措置を講じるための計画を策定している	324	22.0%
	上記1~6の全てを実施している事業場数	214	14.5%

### 5. 上記3で①（知らない・分からない）とお答えの方に、(03\_01を母数に比率算出)

05.01	リスクアセスメントについて、興味がある（今後、資料等を見てみたい）	75	75.0%
05.02	リスクアセスメントについて、特に興味はない・興味を持ってない	25	25.0%

### 6. 上記3で②（知っているが、実施していない）とお答えの方に（複数回答可）(03\_02を母数に比率算出)

06.01	リスクアセスメントの内容がよく分からない（難しい）	245	35.4%
06.02	社内に詳しい者（人材）がいない	388	56.0%
06.03	実施の費用がない	97	14.0%
06.04	実施の時間がない	242	34.9%
06.05	効果に疑問をもっている	27	3.9%
06.06	必要性を感じない（現在行っている他の安全管理活動で十分）	127	18.3%
06.07	現在行っている他の安全管理活動で手一杯	0	0.0%
06.08	過去実施したが、やめた（備考欄へ理由等をご記入願います）	4	0.6%

### 7. 上記3で③（実施している）とお答えの方に、リスクアセスメントの実施時期は？（複数回答可）(03\_03を母数に比率算出)

07.01	不定期（新規設備設置、作業変更等）に実施	923	62.7%
07.02	事故（災害、ヒヤリ・ハット等）発生時に実施	684	46.5%
07.03	定期的（1年以内期間毎）に実施	732	49.8%
07.04	定期的（1年を超える期間毎）に実施	64	4.4%

### 8. リスクアセスメントを実施していて、次の事項で該当するものがあれば、チェックして下さい（複数回答可）(03\_03を母数に比率算出)

08.01	効果を感じている	891	60.6%
08.02	現場が忙しくなった	294	20.0%
08.03	安全衛生スタッフが忙しくなった	487	33.1%
08.04	安全衛生経費・費用が増加した	269	18.3%
08.05	事故・災害の件数が減った	431	29.3%
08.06	大きな事故・災害等が減った	409	27.8%
08.07	危険箇所・危険作業が特定できた	1084	73.7%
08.08	危険箇所・危険作業が増えた	51	3.5%
08.09	KY等の従来の活動と、効果等で違いを感じる	360	24.5%
08.10	マニュアル等書類が増えた	433	29.4%
08.11	社員の士気があがった	190	12.9%
08.12	（監督署・親会社等から）強制された活動である	44	3.0%
08.13	上記以外に何か変化を感じている	43	2.9%

**9. 労働安全衛生マネジメントシステム等** (コスモス、リクスを含む:以下「OSHMS等」という)を知っていますか? (01\_01+01\_02(全体)を母数に比率算出)

09.01	知らない・分からない	663	28.4%
09.02	知っている	1634	70.0%

**10. 上記9で①(知らない・分からない)とお答えの方に、(9\_01を母数に比率算出)**

10.01	OSHMS等について、興味がある	465	70.1%
10.02	OSHMS等について、特に興味はない・興味を持ってない	248	37.4%

**11. OSHMS等を導入していますか? (01\_01+01\_02(全体)を母数に比率算出)**

11.01	運用中であり、PDC Aサイクルを1サイクル以上回している	340	14.6%	0.72	0.75
11.02	運用中であり、PDC Aサイクルを回し始めた	144	6.2%	0.80	0.84
11.03	構築中である(導入の正式決定はしたがPDC Aサイクルは回し始めていない段階)	83	3.6%	1.88	2.04
11.04	導入するための準備段階である(検討中も含む)	505	21.6%	1.88	1.96
11.05	導入していない(予定はない)	977	41.9%	3.62	3.70

**12. 上記11で⑤(導入していない)とお答えの方に(複数回答可) (11\_05を母数に比率算出)**

12.01	OSHMS等の内容がよく分からない	435	44.5%
12.02	社内に詳しい者(人材)がいない	495	50.7%
12.03	実施の費用、時間がない	247	25.3%
12.04	効果に疑問をもっている	63	6.4%
12.05	必要性を感じない(現在行っている他の安全管理活動で十分)	250	25.6%
12.06	現在行っている他の安全管理活動で手一杯	428	43.8%
12.07	過去実施したが、やめた	6	0.6%

# 基本集計 平成21年製造業「安全衛生管理活動等にかかる調査」のまとめ 別添A-1

## 製造業

100未満		100-499		500以上		合計		千人率(自)
事業場数	比率	事業場数	比率	事業場数	比率	事業場数	比率	

### 1. 労働安全衛生に係る基本方針を作成し、それを事業場のトップが表明していますか？ (01\_01+01\_02の合計を全体として計上:有効回答数)

01.01	している	563	80.9%	739	87.7%	177	96.7%	1479	85.9%	1.76
01.02	していない	133	19.1%	104	12.3%	6	3.3%	243	14.1%	3.93

### 2. 事業場の労働安全衛生に係る基本方針を、現場労働者に周知していますか？ (複数回答可) (01\_01を母数に比率算出)

02.01	常時携帯用の冊子等に記載して周知している	53	9.4%	89	12.0%	32	18.1%	174	11.8%
02.02	文書を配布して周知している	189	33.6%	298	40.3%	87	49.2%	574	38.8%
02.03	文書を掲示して周知している	361	64.1%	510	69.0%	125	70.6%	996	67.3%
02.04	朝礼等の際に定期的に口頭で周知している	355	63.1%	402	54.4%	65	36.7%	822	55.6%
02.05	その他の方法で周知している (社内LANなど)	99	17.6%	227	30.7%	95	53.7%	421	28.5%
02.06	基本方針の周知はしていない	10	1.8%	7	0.9%	2	1.1%	19	1.3%

### 3. リスクアセスメント (危険性・有害性等の調査及び必要な措置の実施) を知っていますか？ (01\_01+01\_02(全体)を母数に比率算出)

03.01	知らない・分からない	50	7.2%	30	3.6%	1	0.5%	81	4.7%	3.64
03.02	知っているが、実施していない	276	39.7%	237	28.1%	16	8.7%	529	30.7%	4.16
03.03	実施している	339	48.7%	557	66.1%	162	88.5%	1058	61.4%	3.37

#### 上記③の場合、リスクアセスメントを実施する体制等はどこまで整備されていますか？ (複数回答可) (03\_03を母数に比率算出)

イ	事業場のトップ(総括安全衛生管理者等)がリスクアセスメントの実施を統括管理することを文書等で明示している	133	39.2%	196	35.2%	84	51.9%	413	39.0%
ロ	安全管理者、衛生管理者等をリスクアセスメントの実施を管理する者に選任し、これを実施するために必要な教育を受けさせている	203	59.9%	337	60.5%	112	69.1%	652	61.6%
ハ	(化学物質を使用する事業場の場合)化学物質等の管理を担当する者(化学物質管理者)を指名し、リスクの調査等に関し技術的業務を担当させている	64	18.9%	103	18.5%	45	27.8%	212	20.0%
ニ	安全衛生委員会等の運営規定にリスクアセスメントが調査審議事項として記載されている	67	19.8%	146	26.2%	69	42.6%	282	26.7%
ホ	安全衛生委員会等でリスクアセスメントを調査審議事項としている	167	49.3%	286	51.3%	99	61.1%	552	52.2%
ヘ	安全衛生委員会等の議事録等にリスクアセスメントの結果に対し、調査審議した記録を残している	119	35.1%	231	41.5%	82	50.6%	432	40.8%

### 4. 行っているリスクアセスメントについて (複数回答可) (03\_03を母数に比率算出)

04.01	作業標準・作業手順書等により、危険性又は有害性が特定されている	237	69.9%	340	61.0%	115	71.0%	692	65.4%
04.02	特定された危険性又は有害性をもとに、リスクの見積り(評価)を行っている	197	58.1%	403	72.4%	148	91.4%	748	70.7%
04.03	リスクを低減するための優先度の設定及び低減措置を検討している	215	63.4%	394	70.7%	142	87.7%	751	71.0%
04.04	優先度に対応したリスク低減措置を実施している	176	51.9%	359	64.5%	135	83.3%	670	63.3%
04.05	残存リスク等(リスクアセスメント活動)の記録を作成している	120	35.4%	246	44.2%	117	72.2%	483	45.7%
04.06	今後、残存リスク等に対し低減措置を講じるための計画を策定している	64	18.9%	124	22.3%	65	40.1%	253	23.9%
	上記1~6の全てを実施している事業場数	36	10.6%	75	13.5%	52	32.1%	163	15.4%

### 5. 上記3で①(知らない・分からない)とお答えの方に、(03\_01を母数に比率算出)

05.01	リスクアセスメントについて、興味がある(今後、資料等を見たい)	37	74.0%	22	73.3%	1	100.0%	60	74.1%
05.02	リスクアセスメントについて、特に興味はない・興味を持ってない	13	26.0%	8	26.7%	0	0.0%	21	25.9%

### 6. 上記3で②(知っているが、実施していない)とお答えの方に (複数回答可) (03\_02を母数に比率算出)

06.01	リスクアセスメントの内容がよく分からない(難しい)	111	40.2%	74	31.2%	5	31.3%	190	21.5%
06.02	社内に詳しい者(人材)がいない	165	59.8%	131	55.3%	7	43.8%	303	34.3%
06.03	実施の費用がない	41	14.9%	31	13.1%	2	12.5%	74	8.4%
06.04	実施の時間がない	94	34.1%	93	39.2%	4	25.0%	191	21.6%
06.05	効果に疑問をもっている	11	4.0%	6	2.5%	0	0.0%	17	1.9%
06.06	必要性を感じない(現在行っている他の安全管理活動で十分)	65	23.6%	36	15.2%	3	18.8%	104	11.8%
06.07	現在行っている他の安全管理活動で手一杯	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
06.08	過去実施したが、やめた(備考欄へ理由等をご記入願います)	1	0.4%	3	1.3%	0	0.0%	4	0.5%

### 7. 上記3で③(実施している)とお答えの方に、リスクアセスメントの実施時期は？ (複数回答可) (03\_03を母数に比率算出)

07.01	不定期(新規設備設置、作業変更等)に実施	219	64.6%	320	57.5%	130	80.2%	669	63.2%
07.02	事故(災害、ヒヤリ・ハット等)発生時に実施	144	42.5%	242	43.4%	94	58.0%	480	45.4%
07.03	定期的(1年以内期間毎)に実施	156	46.0%	304	54.6%	85	52.5%	545	51.5%
07.04	定期的(1年を超える期間毎)に実施	17	5.0%	18	3.2%	14	8.6%	49	4.6%

### 8. リスクアセスメントを実施していて、次の事項で該当するものがあれば、チェックして下さい (複数回答可) (03\_03を母数に比率算出)

08.01	効果を感じている	189	55.8%	334	60.0%	120	74.1%	643	60.8%
08.02	現場が忙しくなった	49	14.5%	108	19.4%	64	39.5%	221	20.9%
08.03	安全衛生スタッフが忙しくなった	93	27.4%	204	36.6%	86	53.1%	383	36.2%
08.04	安全衛生経費・費用が増加した	58	17.1%	120	21.5%	49	30.2%	227	21.5%
08.05	事故・災害の件数が減った	93	27.4%	146	26.2%	51	31.5%	290	27.4%
08.06	大きな事故・災害等が減った	72	21.2%	148	26.6%	57	35.2%	277	26.2%
08.07	危険箇所・危険作業が特定できた	254	74.9%	422	75.8%	135	83.3%	811	76.7%
08.08	危険箇所・危険作業が増えた	11	3.2%	11	2.0%	14	8.6%	36	3.4%
08.09	KY等の従来の活動と、効果等で違いを感じる	56	16.5%	117	21.0%	43	26.5%	216	20.4%
08.10	マニュアル等書類が増えた	75	22.1%	161	28.9%	73	45.1%	309	29.2%
08.11	社員の士気があがった	43	12.7%	69	12.4%	21	13.0%	133	12.6%
08.12	(監督署・親会社等から)強制された活動である	10	2.9%	17	3.1%	2	1.2%	29	2.7%
08.13	上記以外に何か変化を感じている	5	1.5%	14	2.5%	6	3.7%	25	2.4%

9. 労働安全衛生マネジメントシステム等（コスモス、リクムスを含む：以下「OSHMS等」という）を知っていますか？ (01\_01+01\_02(全体)を母数に比率算出)

09.01	知らない・分からない	287	41.2%	195	23.1%	9	4.9%	491	28.5%
09.02	知っている	399	57.3%	637	75.6%	171	93.4%	1207	70.1%

10. 上記9で①（知らない・分からない）とお答えの方に、(9\_01を母数に比率算出)

10.01	OSHMS等について、興味がある	197	68.6%	138	70.8%	10	111.1%	345	70.3%
10.02	OSHMS等について、特に興味はない・興味を持ってない	107	37.3%	70	35.9%	4	44.4%	181	36.9%

11. OSHMS等を導入していますか？ (01\_01+01\_02(全体)を母数に比率算出)

11.01	運用中であり、P D C Aサイクルを1サイクル以上回している	38	5.5%	103	12.2%	55	30.1%	196	11.4%	0.72
11.02	運用中であり、P D C Aサイクルを回し始めた	26	3.7%	50	5.9%	27	14.8%	103	6.0%	0.80
11.03	構築中である（導入の正式決定はしたがP D C Aサイクルは回し始めている）	14	2.0%	31	3.7%	16	8.7%	61	3.5%	1.88
11.04	導入するための準備段階である（検討中も含む）	136	19.5%	209	24.8%	46	25.1%	391	22.7%	1.88
11.05	導入していない（予定はない）	358	51.4%	373	44.2%	29	15.8%	760	44.1%	3.62

12. 上記11で⑤（導入していない）とお答えの方に（複数回答可）(11\_05を母数に比率算出)

12.01	OSHMS等の内容がよく分からない	181	50.6%	152	40.8%	6	20.7%	339	44.6%
12.02	社内に詳しい者（人材）がいない	192	53.6%	182	48.8%	14	48.3%	388	51.1%
12.03	実施の費用、時間がない	88	24.6%	97	26.0%	7	24.1%	192	25.3%
12.04	効果に疑問をもっている	19	5.3%	28	7.5%	2	6.9%	49	6.4%
12.05	必要性を感じない（現在行っている他の安全管理活動で十分）	92	25.7%	94	25.2%	7	24.1%	193	25.4%
12.06	現在行っている他の安全管理活動で手一杯	127	35.5%	178	47.7%	19	65.5%	324	42.6%
12.07	過去実施したが、やめた	3	0.8%	2	0.5%	0	0.0%	5	0.7%

# 基本集計 平成21年建設業「安全衛生管理活動等にかかる調査」のまとめ 別添A-2

## 建設業

全体		千人 率(自)
事業 場数	比率	

<b>1. 労働安全衛生に係る基本方針を作成し、それを事業場のトップが表明していますか？ (01_01+01_02の合計を全体として計上:有効回答数)</b>				
01.01	している	309	93.4%	28.09
01.02	していない	22	6.6%	4.99
<b>2. 事業場の労働安全衛生に係る基本方針を、現場労働者に周知していますか？ (複数回答可) (01_01を母数に比率算出)</b>				
02.01	常時携帯用の冊子等に記載して周知している	30	9.7%	
02.02	文書を配布して周知している	191	61.8%	
02.03	文書を掲示して周知している	206	66.7%	
02.04	朝礼等の際に定期的に口頭で周知している	119	38.5%	
02.05	その他の方法で周知している (社内LANなど)	122	39.5%	
02.06	基本方針の周知はしていない	7	2.3%	
<b>3. リスクアセスメント (危険性・有害性等の調査及び必要な措置の実施) を知っていますか？ (01_01+01_02(全体)を母数に比率算出)</b>				
03.01	知らない・分からない	7	2.1%	4.51
03.02	知っているが、実施していない	65	19.6%	4.62
03.03	実施している	253	76.4%	2.65
上記③の場合、リスクアセスメントを実施する体制等はどこまで整備されていますか？ (複数回答可) (03_03を母数に比率算出)				
イ	事業場のトップ(総括安全衛生管理者等)がリスクアセスメントの実施を統括管理することを文書等で明示している	146	57.7%	
ロ	安全管理者、衛生管理者等をリスクアセスメントの実施を管理する者に選任し、これを実施するために必要な教育を受けさせている	184	72.7%	
ハ	(化学物質を使用する事業場の場合)化学物質等の管理を担当する者(化学物質管理者)を指名し、リスクの調査等に関し技術的業務を担当させている	15	5.9%	
ニ	安全衛生委員会等の運営規定にリスクアセスメントが調査審議事項として記載されている	60	23.7%	
ホ	安全衛生委員会等でリスクアセスメントを調査審議事項としている	96	37.9%	
ヘ	安全衛生委員会等の議事録等にリスクアセスメントの結果に対し、調査審議した記録を残している	73	28.9%	
<b>4. 行っているリスクアセスメントについて (複数回答可) (03_03を母数に比率算出)</b>				
04.01	作業標準・作業手順書等により、危険性又は有害性が特定されている	198	78.3%	
04.02	特定された危険性又は有害性をもとに、リスクの見積り(評価)を行っている	202	79.8%	
04.03	リスクを低減するための優先度の設定及び低減措置を検討している	179	70.8%	
04.04	優先度に対応したリスク低減措置を実施している	174	68.8%	
04.05	残存リスク等(リスクアセスメント活動)の記録を作成している	97	38.3%	
04.06	今後、残存リスク等に対し低減措置を講じるための計画を策定している	33	13.0%	
	上記1~6の全てを実施している事業場数	28	11.1%	
<b>5. 上記3で①(知らない・分からない)とお答えの方に、(03_01を母数に比率算出)</b>				
05.01	リスクアセスメントについて、興味がある(今後、資料等を見てみたい)	5	71.4%	
05.02	リスクアセスメントについて、特に興味はない・興味を持ってない	2	28.6%	
<b>6. 上記3で②(知っているが、実施していない)とお答えの方に(複数回答可) (03_02を母数に比率算出)</b>				
06.01	リスクアセスメントの内容がよく分からない(難しい)	19	29.2%	
06.02	社内に詳しい者(人材)がいない	28	43.1%	
06.03	実施の費用がない	7	10.8%	
06.04	実施の時間がない	17	26.2%	
06.05	効果に疑問をもっている	3	4.6%	
06.06	必要性を感じない(現在行っている他の安全管理活動で十分)	16	24.6%	
06.07	現在行っている他の安全管理活動で手一杯	0	0.0%	
06.08	過去実施したが、やめた(備考欄へ理由等をご記入願います)	0	0.0%	
<b>7. 上記3で③(実施している)とお答えの方に、リスクアセスメントの実施時期は？ (複数回答可) (03_03を母数に比率算出)</b>				
07.01	不定期(新規設備設置、作業変更等)に実施	173	68.4%	
07.02	事故(災害、ヒヤリ・ハット等)発生時に実施	110	43.5%	
07.03	定期的(1年以内期間毎)に実施	106	41.9%	
07.04	定期的(1年を超える期間毎)に実施	9	3.6%	
<b>8. リスクアセスメントを実施していて、次の事項で該当するものがあれば、チェックして下さい (複数回答可) (03_03を母数に比率算出)</b>				
08.01	効果を感じている	164	64.8%	
08.02	現場が忙しくなった	50	19.8%	
08.03	安全衛生スタッフが忙しくなった	71	28.1%	
08.04	安全衛生経費・費用が増加した	26	10.3%	
08.05	事故・災害の件数が減った	71	28.1%	
08.06	大きな事故・災害等が減った	68	26.9%	
08.07	危険箇所・危険作業が特定できた	168	66.4%	
08.08	危険箇所・危険作業が増えた	11	4.3%	
08.09	KY等の従来の活動と、効果等で違いを感じる	112	44.3%	
08.10	マニュアル等書類が増えた	80	31.6%	
08.11	社員の士気があがった	33	13.0%	
08.12	(監督署・親会社等から)強制された活動である	11	4.3%	
08.13	上記以外に何か変化を感じている	14	5.5%	
<b>9. 労働安全衛生マネジメントシステム等(コスモス、リクスを含む:以下「OSHMS等」という)を知っていますか？ (01_01+01_02(全体)を母数に比率算出)</b>				
09.01	知らない・分からない	51	15.4%	
09.02	知っている	271	81.9%	
<b>10. 上記9で①(知らない・分からない)とお答えの方に、(09_01を母数に比率算出)</b>				
10.01	OSHMS等について、興味がある	25	49.0%	
10.02	OSHMS等について、特に興味はない・興味を持ってない	24	47.1%	



**1 1. OSHMS等を導入していますか？ (01\_01+01\_02(全体)を母数に比率算出)**

11.01	運用中であり、PDC Aサイクルを1サイクル以上回している	95	28.7%	1.94
11.02	運用中であり、PDC Aサイクルを回し始めた	15	4.5%	0.49
11.03	構築中である（導入の正式決定はしたがPDC Aサイクルは回し始めている段階）	13	3.9%	8.91
11.04	導入するための準備段階である（検討中も含む）	73	22.1%	3.55
11.05	導入していない（予定はない）	116	35.0%	4.50

**1 2. 上記1 1で⑤（導入していない）とお答えの方に（複数回答可） (11\_05を母数に比率算出)**

12.01	OSHMS等の内容がよく分からない	32	27.6%
12.02	社内に詳しい者（人材）がない	47	40.5%
12.03	実施の費用、時間がない	27	23.3%
12.04	効果に疑問をもっている	11	9.5%
12.05	必要性を感じない（現在行っている他の安全管理活動で十分）	40	34.5%
12.06	現在行っている他の安全管理活動で手一杯	55	47.4%
12.07	過去実施したが、やめた	1	0.9%

# 基本集計 平成21年運送業「安全衛生管理活動等にかかる調査」のまとめ 別添A-3

## 運送業

100未満		100-299		300以上		合計		千人率(自)
事業場数	比率	事業場数	比率	事業場数	比率	事業場数	比率	

### 1. 労働安全衛生に係る基本方針を作成し、それを事業場のトップが表明している (01\_01+01\_02の合計を全体として計上:有効回答数)

01.01	している	115	83.3%	100	82.6%	12	85.7%	227	83.2%	4.47
01.02	していない	23	16.7%	21	17.4%	2	14.3%	46	16.8%	3.80

### 2. 事業場の労働安全衛生に係る基本方針を、現場労働者に周知していますか? (複数回答可) (01\_01を母数に比率算出)

02.01	常時携帯用の冊子等に記載して周知している	23	20.0%	21	21.0%	1	8.3%	45	19.8%
02.02	文書を配布して周知している	49	42.6%	46	46.0%	6	50.0%	101	44.5%
02.03	文書を掲示して周知している	97	84.3%	82	82.0%	8	66.7%	187	82.4%
02.04	朝礼等の際に定期的に口頭で周知している	70	60.9%	65	65.0%	4	33.3%	139	61.2%
02.05	その他の方法で周知している(社内LANなど)	26	22.6%	25	25.0%	5	41.7%	56	24.7%
02.06	基本方針の周知はしていない	2	1.7%	1	1.0%	0	0.0%	3	1.3%

### 3. リスクアセスメント(危険性・有害性等の調査及び必要な措置の実施)を知っていますか? (01\_01+01\_02(全体)を母数に比率算出)

03.01	知らない・分からない	8	5.8%	4	3.3%	0	0.0%	12	4.4%	3.10
03.02	知っているが、実施していない	45	32.6%	47	38.8%	3	21.4%	95	34.8%	5.05
03.03	実施している	80	58.0%	65	53.7%	11	78.6%	156	57.1%	4.14

#### 上記③の場合、リスクアセスメントを実施する体制等はどこまで整備されていますか? (複数回答可) (03\_03を母数に比率算出)

イ	事業場のトップ(総括安全衛生管理者等)がリスクアセスメントの実施を統括管理することを文書等で明示している	42	52.5%	29	44.6%	6	54.5%	77	49.4%
ロ	安全管理者、衛生管理者等をリスクアセスメントの実施を管理する者に選任し、これを実施するために必要な教育を受けさせている	53	66.3%	36	55.4%	7	63.6%	96	61.5%
ハ	(化学物質を使用する事業場の場合)化学物質等の管理を担当する者(化学物質管理者)を指名し、リスクの調査等に関し技術的業務を担当させている	4	5.0%	1	1.5%	2	18.2%	7	4.5%
ニ	安全衛生委員会等の運営規定にリスクアセスメントが調査審議事項として記載されている	23	28.8%	20	30.8%	3	27.3%	46	29.5%
ホ	安全衛生委員会等でリスクアセスメントを調査審議事項としている	24	30.0%	30	46.2%	5	45.5%	59	37.8%
ヘ	安全衛生委員会等の議事録等にリスクアセスメントの結果に対し、調査審議した記録を残している	26	32.5%	30	46.2%	4	36.4%	60	38.5%

### 4. 行っているリスクアセスメントについて (複数回答可) (03\_03を母数に比率算出)

04.01	作業標準・作業手順書等により、危険性又は有害性が特定されている	54	67.5%	49	75.4%	9	81.8%	112	71.8%
04.02	特定された危険性又は有害性をもとに、リスクの見積り(評価)を行っている	33	41.3%	34	52.3%	7	63.6%	74	47.4%
04.03	リスクを低減するための優先度の設定及び低減措置を検討している	45	56.3%	36	55.4%	6	54.5%	87	55.8%
04.04	優先度に対応したリスク低減措置を実施している	34	42.5%	33	50.8%	3	27.3%	70	44.9%
04.05	残存リスク等(リスクアセスメント活動)の記録を作成している	19	23.8%	24	36.9%	3	27.3%	46	29.5%
04.06	今後、残存リスク等に対し低減措置を講じるための計画を策定している	21	26.3%	15	23.1%	2	18.2%	38	24.4%
	上記1~6の全てを実施している事業場数	13	16.3%	8	12.3%	2	18.2%	23	14.7%

### 5. 上記3で①(知らない・分からない)とお答えの方に、(03\_01を母数に比率算出)

05.01	リスクアセスメントについて、興味がある(今後、資料等を見たい)	7	87.5%	3	75.0%	0	#DIV/0!	10	83.3%
05.02	リスクアセスメントについて、特に興味はない・興味を持ってない	1	12.5%	1	25.0%	0	#DIV/0!	2	16.7%

### 6. 上記3で②(知っているが、実施していない)とお答えの方に(複数回答可) (03\_02を母数に比率算出)

06.01	リスクアセスメントの内容がよく分からない(難しい)	18	40.0%	16	34.0%	0	0.0%	34	22.8%
06.02	社内に詳しい者(人材)がいない	26	57.8%	27	57.4%	1	33.3%	54	36.2%
06.03	実施の費用がない	5	11.1%	10	21.3%	0	0.0%	15	10.1%
06.04	実施の時間がない	17	37.8%	14	29.8%	1	33.3%	32	21.5%
06.05	効果に疑問をもっている	2	4.4%	5	10.6%	0	0.0%	7	4.7%
06.06	必要性を感じない(現在行っている他の安全管理活動で十分)	1	2.2%	6	12.8%	0	0.0%	7	4.7%
06.07	現在行っている他の安全管理活動で手一杯	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
06.08	過去実施したが、やめた(備考欄へ理由等をご記入願います)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

### 7. 上記3で③(実施している)とお答えの方に、リスクアセスメントの実施時期は?(複数回答可) (03\_03を母数に比率算出)

07.01	不定期(新規設備設置、作業変更等)に実施	44	55.0%	31	47.7%	5	45.5%	80	51.3%
07.02	事故(災害、ヒヤリ・ハット等)発生時に実施	51	63.8%	36	55.4%	5	45.5%	92	59.0%
07.03	定期的(1年以内期間毎)に実施	40	50.0%	36	55.4%	5	45.5%	81	51.9%
07.04	定期的(1年を超える期間毎)に実施	3	3.8%	3	4.6%	0	0.0%	6	3.8%

### 8. リスクアセスメントを実施していて、次の事項で該当するものがあれば、チェックして下さい(複数回答可) (03\_03を母数に比率算出)

08.01	効果を感じている	42	52.5%	36	55.4%	5	45.5%	83	53.2%
08.02	現場が忙しくなった	14	17.5%	8	12.3%	1	9.1%	23	14.7%
08.03	安全衛生スタッフが忙しくなった	15	18.8%	15	23.1%	2	18.2%	32	20.5%
08.04	安全衛生経費・費用が増加した	9	11.3%	6	9.2%	1	9.1%	16	10.3%
08.05	事故・災害の件数が減った	35	43.8%	33	50.8%	2	18.2%	70	44.9%
08.06	大きな事故・災害等が減った	36	45.0%	26	40.0%	2	18.2%	64	41.0%
08.07	危険箇所・危険作業が特定できた	47	58.8%	48	73.8%	8	72.7%	103	66.0%
08.08	危険箇所・危険作業が増えた	3	3.8%	1	1.5%	0	0.0%	4	2.6%
08.09	KY等の従来の活動と、効果等で違いを感じる	11	13.8%	19	29.2%	2	18.2%	32	20.5%
08.10	マニュアル等書類が増えた	25	31.3%	15	23.1%	4	36.4%	44	28.2%
08.11	社員の士気があがった	11	13.8%	11	16.9%	2	18.2%	24	15.4%
08.12	(監督署・親会社等から)強制された活動である	3	3.8%	1	1.5%	0	0.0%	4	2.6%
08.13	上記以外に何か変化を感じている	3	3.8%	1	1.5%	0	0.0%	4	2.6%

9. 労働安全衛生マネジメントシステム等（コスモス、リクスを含む：以下「OSHMS等」という）を知っていますか？（01\_01+01\_02(全体)を母数に比率算出）

09.01	知らない・分からない	66	47.8%	48	39.7%	2	14.3%	116	42.5%
09.02	知っている	70	50.7%	71	58.7%	12	85.7%	153	56.0%

10. 上記9で①（知らない・分からない）とお答えの方に、（9\_01を母数に比率算出）

10.01	OSHMS等について、興味がある	46	69.7%	35	72.9%	2	100.0%	83	71.6%
10.02	OSHMS等について、特に興味はない・興味を持ってない	21	31.8%	15	31.3%	1	50.0%	37	31.9%

11. OSHMS等を導入していますか？（01\_01+01\_02(全体)を母数に比率算出）

11.01	運用中であり、P D C Aサイクルを1サイクル以上回している	23	16.7%	23	19.0%	2	14.3%	48	17.6%	2.20
11.02	運用中であり、P D C Aサイクルを回し始めた	9	6.5%	11	9.1%	5	35.7%	25	9.2%	2.81
11.03	構築中である （導入の正式決定はしたがP D C Aサイクルは回し始めている段階）	6	4.3%	2	1.7%	1	7.1%	9	3.3%	—
11.04	導入するための準備段階である（検討中も含む）	22	15.9%	18	14.9%	0	0.0%	40	14.7%	4.31
11.05	導入していない（予定はない）	49	35.5%	45	37.2%	5	35.7%	99	36.3%	4.44

12. 上記11で⑤（導入していない）とお答えの方に（複数回答可）（11\_05を母数に比率算出）

12.01	OSHMS等の内容がよく分からない	36	73.5%	25	55.6%	1	20.0%	62	62.6%
12.02	社内に詳しい者（人材）がない	34	69.4%	22	48.9%	2	40.0%	58	58.6%
12.03	実施の費用、時間がない	15	30.6%	13	28.9%	0	0.0%	28	28.3%
12.04	効果に疑問をもっている	2	4.1%	1	2.2%	0	0.0%	3	3.0%
12.05	必要性を感じない（現在行っている他の安全管理活動で十分）	5	10.2%	12	26.7%	0	0.0%	17	17.2%
12.06	現在行っている他の安全管理活動で手一杯	26	53.1%	23	51.1%	0	0.0%	49	49.5%
12.07	過去実施したが、やめた	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%